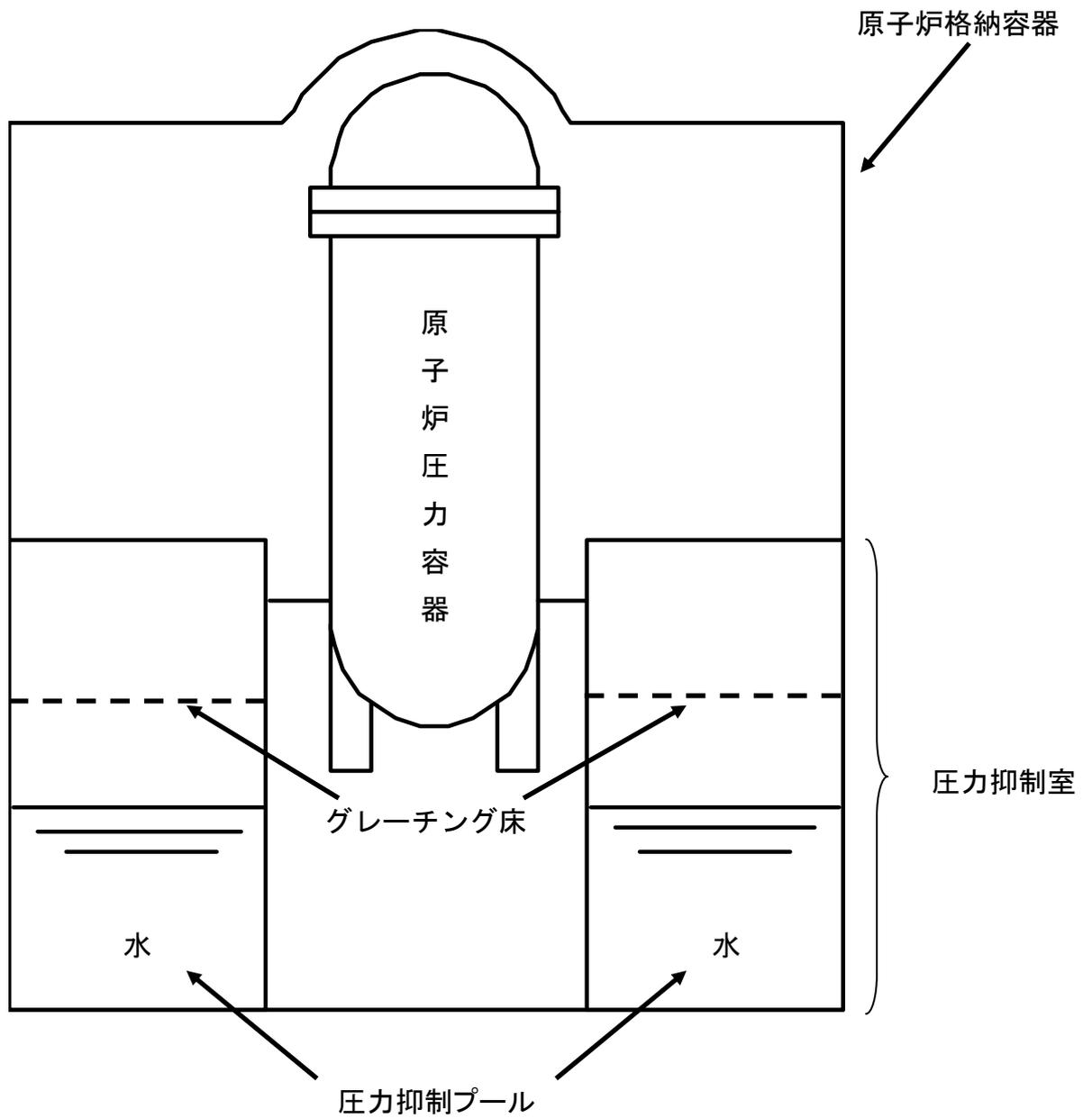


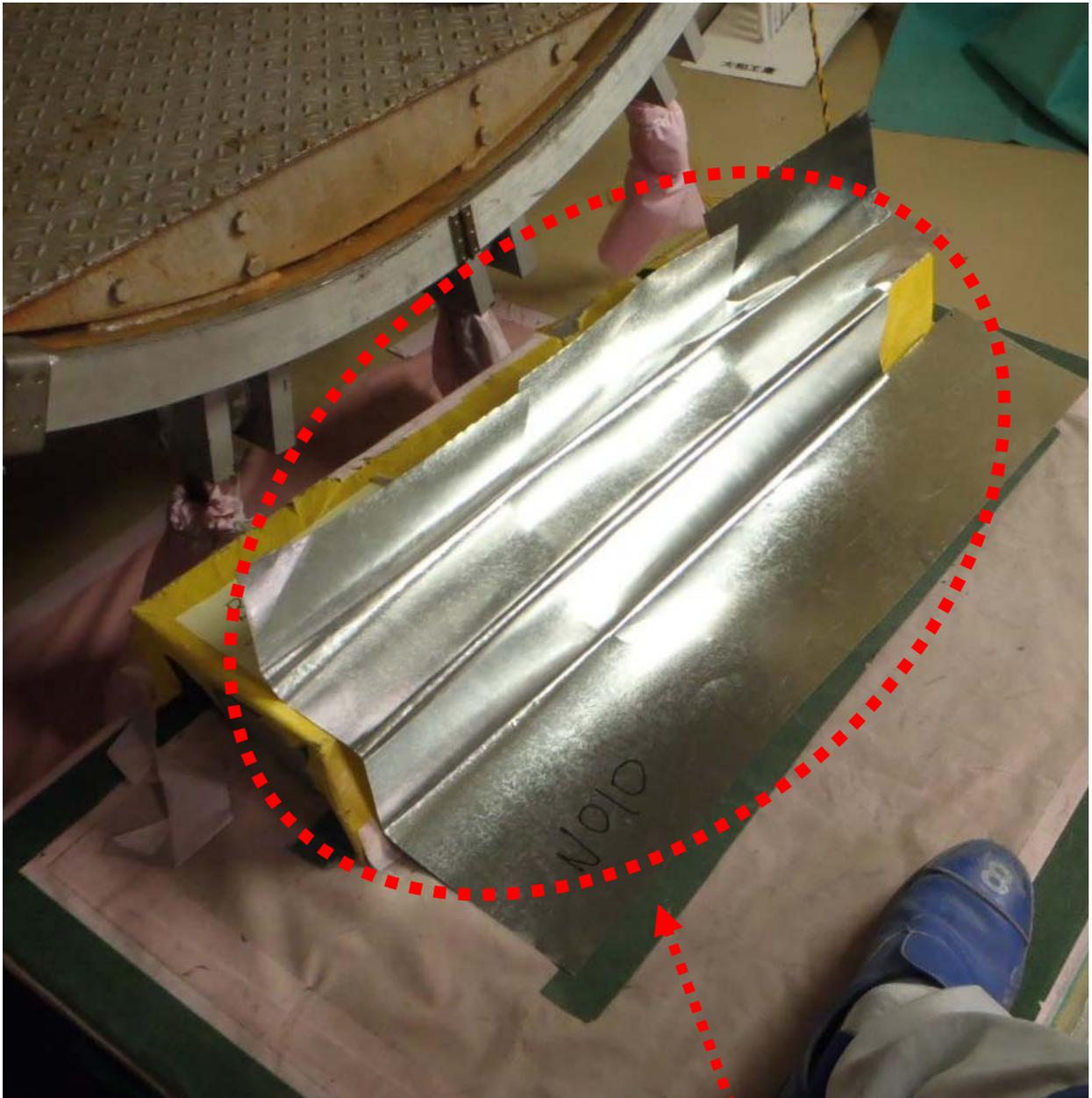
区分：Ⅲ

場所	6号機圧力抑制室（管理区域）	
件名	6号機圧力抑制プールへの資機材の落下について	
不適合の概要	<p>（発生状況）</p> <p>平成 26 年 2 月 6 日午後 1 時 40 分頃、定期検査中の 6 号機圧力抑制室*¹内グレーチング床上において、室内の計装品の耐震強化作業準備のため、協力企業作業員が床面の火気養生を行っていたところ、火気養生用の資機材（ブリキ板：約 90cm×約 43cm×約 0.3mm）を誤って床下の圧力抑制プールへ落下させてしまいました。</p> <p>（安全性の影響）</p> <p>落下した資機材が圧力抑制プール内に設置されている非常用炉心冷却系のストレーナ*²を閉塞させる可能性はなく、安全上の問題はありません。</p> <p>* 1 圧力抑制室</p> <p>原子炉格納容器の下部にあり、原子炉格納容器内圧力が蒸気等で上昇した場合にその蒸気を圧力抑制室内に導いて冷却することで原子炉格納容器内の圧力を低下させる設備。また、原子炉冷却材喪失事故時の非常用炉心冷却系の水源として水を貯蔵する役割もある。</p> <p>* 2 非常用炉心冷却系のストレーナ</p> <p>非常用炉心冷却系とは、原子炉冷却材喪失事故が発生した場合に炉心から崩壊熱および残留熱を除去し、燃料の加熱による燃料被覆材の破損を防ぎ、さらにこれに伴う水とジルコニウムの反応を無視し得る程度に抑える装置の総称で、ストレーナとは、その装置で使われる金網状のポンプの吸込フィルター。</p>	
安全上の重要度／損傷の程度	<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / その他設備</p>	<p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要</p> <p><input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
対応状況	<p>落下した資機材は圧力抑制プール内において目視にて位置が特定できており、今後、準備が整い次第、回収を行います。当所では、以前より圧力抑制室への異物混入対策に取り組んでいますが、今回の落下を受け、作業関係者へ改めて異物混入対策の周知徹底を図りました。</p>	

柏崎刈羽原子力発電所6号機 圧力抑制室の概略図



圧力抑制室における資機材の落下について



同型の落下した資機材（ブリキ板）